

2021
3月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第199号-①【基準日 2021年2月26日】



🌸 社長メッセージ



感謝 おかげさまで創立 17 周年



ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介

皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。昨年のコロナショックから早いもので1年が経ちました。感染防止対策のためマスクを四六時中着用する生活が続き、非日常が日常になってきているように感じる今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか？

おかげさまで弊社は今年3月9日に創立17周年を迎えます。これもひとえに皆さまのご支援の賜物であると感謝申し上げます。また、コロナ禍の大変な状況の中でも資産運用を続けて頂きまして誠にありがとうございます。

弊社は2004年3月9日に税理士・公認会計士が立ち上げた独立系の資産運用会社です。これからもお客さまの将来不安を長期国際分散投資による資産運用で解消すべく、金融機関や大手企業のグループ子会社ではない独立性を強みとして、真に顧客本位の業務運営に徹し、優れた運用成果と資産運用サービスの提供を目指して役職員一同、精進して参ります。

さて、先月2月のマーケットですが、米国の追加経済対策や各国でのワクチン普及進展による経済活動正常化期待から景気敏感株やバリュー株を中心に株式市場は堅調に推移して米国NYダウは連日最高値を更新し、日経平均株価も約30年半ぶりに3万円の大台を回復しましたが、月末にかけて米国長期金利の急上昇をきっかけに、株式市場は急落し大きく調整して終わりました。特に今まで低金利の恩恵を受けて相場上昇を牽引していたIT関連などの成長株を中心に大きく調整しました。そのような中で、皆さまのありがとうファンドの先月の騰落率は月間4.8%の上昇になりました。参考までに世界株は4.0%の上昇、日本株TOPIX配当込みは3.1%の上昇となりましたので、相対的に強い1ヶ月となりました。

今後のマーケットは、引き続きワクチン普及進展による新型コロナの感染収束・経済正常化期待による景気回復と各国政府・中央銀行による財政支出・金融緩和政策の継続性によって相場動向が左右される展開になると思われます。足元は米国長期金利の水準にマーケットの関心が集まっています。



過剰流動性相場の中、先月からの株価高値更新と急落に見られるように、世界の株式市場は引き続き上下にボラティリティ(変動率)の高い相場状況が当面続くと思われます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

一喜一憂せずに資産運用を続けるには自動化・仕組み化が望ましい

1年前のコロナショック以降、世界の株式市場は実態経済と乖離し先行してV字回復してきましたが、先月末の急落局面ではコロナショックの再来かと思われたお客様もいらっしゃるかもしれません。特に日経平均株価が約1200円値下がりするのを見て1年前を思い出して不安になられた方も少なくないかもしれませんが、大切なことは短期の相場変動に一喜一憂しないことです。



もっと下がるのではないかと思います、必要がないのに利益確定の売りをしたらすぐに反発して戻ってしまうことはよくあります。そして、なかなか売値よりも下がらないと我慢できなくなって売値より高い価格で買い戻してしまうこともよくあります。

もし売却せずにそのままバイ・アンド・ホールドしておけば利益に対して20.315%課税されずに課税を繰り延べることができます。利益確定して買い戻す方法は仮に上手くいったとしても長期で考えると税金の分だけ運用効率が悪くなってしまいます。

短期的な相場を予想して売り買いのタイミングを計ってファンドを売買して利益を稼ごうとすることはトレーディングであり投機(ギャンブル)と変わりません。自分では長期投資で資産運用をしようと考えていたのに、いつの間にか投機になってしまっていることも少なくないので注意が必要です。

相場の上昇、下落に一喜一憂しないように心掛けていても気になってしまう方には、時間分散投資による定期積立サービスと分割購入サービスを利用されるのがおすすめです。また、換金タイミングに迷ってしまう方にはあらかじめ換金タイミングを決めておく定期換金サービスによる計画的な換金による売買の自動化・仕組み化が望ましいのではないかと考えます。

弊社ではお客様の資産運用を成功に導くための定期積立や分割購入、定期換金などの便利なサービスをご用意しております。お客様の資産運用の運用成果は、「ファンドの運用成果」+「お客様の投資行動」によって決まってきます。ファンドの運用成果がよくても、お客様の投資行動が適切でなければ十分なリターンを享受することは難しくなります。反対にお客様の投資行動が適切であればファンドの運用成果以上のリターンを得ることも可能になります。

弊社では引き続きお客様から託された資金を、一貫した運用方針でマーケットタイミングリスクはとらずに、幅広い国・地域への国際分散投資による資産配分とアクティブな銘柄選択による厳選投資によって、ボラティリティが大きな相場状況の中でもダウンサイドリスクを抑えながら長期的に優れた運用成果を目指して運用するとともに、お客様が資産運用を長期で継続できる仕組みや便利なサービスをご用意して一生涯サポートさせていただきます。



今月創立17周年を迎えますが、今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

🌸 積立投資のススメ!

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう!

期間	平均取得単価	損益
1年	19,850円	+23.2%
3年	18,820円	+29.9%
5年	17,782円	+37.5%
10年	13,551円	+80.5%
初回(2004年10月)から	11,859円	+106.2%

投資信託をいつ買えばよいか?とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	14万7830円
3年	36万円	46万7780円
5年	60万円	82万5126円
10年	120万円	216万5456円
初回(2004年10月)から	197万円	406万2228円

2021年2月26日現在(基準価額:24,454円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落し金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2021年 3月分	2月4日(木)	2月24日(水)	3月8日(月)	3月16日(火)	3月18日(木)
2021年 4月分	3月4日(木)	3月25日(木)	4月6日(火)	4月14日(水)	4月16日(金)
2021年 5月分	4月5日(月)	4月20日(火)	5月6日(木)	5月14日(金)	5月18日(火)
2021年 6月分	4月30日(金)	5月26日(水)	6月7日(月)	6月15日(火)	6月17日(木)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

3月	-	-	-
4月	2日(金)	グッド・フライデー	ニューヨーク証券取引所休業日 ルクセンブルクの銀行休業日
	5日(月)	イースター・マンデー	ルクセンブルクの銀行休業日
5月	13日(木)	キリスト昇天祭	ルクセンブルクの銀行休業日
	24日(月)	聖霊降臨祭	ルクセンブルクの銀行休業日
	31日(月)	戦没者記念日	ニューヨーク証券取引所休業日



ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99%(税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.55%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区千代田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。